

江南保健所こどもだより

びほくの輪 プチ ~petit~

第6号 令和8年3月発行

<発行元>

愛知県江南保健所
江南市布袋下山町西80
0587-56-2157

江南厚生病院と共催!



令和7年度 長期療養児家族交流会を開催しました!

令和8年2月26日(木) 小児慢性特定疾病をもつお子さんのご家族を対象に、長期療養児家族交流会を開催しました。今年度は江南厚生病院と共催で実施し、10名の方にご参加いただきました!会場には託児スペースを設けました。交流会には、助言者として江南厚生病院小児科医師の西村直子先生が参加されました。最初に、2名の方に体験談として、診断後や治療中の不安、入園・就学に向けた関係機関との話し合い、病気のあるお子さんやきょうだい児への伝え方、家族での支え合いなどをお話しいただきました。その他の参加者の皆さんも、診断後から現在に至るまでの経過や思い、病気との向き合い方、同じように病気のあるお子さんをもつ保護者との繋がり大切さなど、日頃抱えている思いや悩みを語り合い、情報交換を行うなど、有意義な時間となりました。

交流会の様子



子どもはまだ2歳でわからないことばかりです。
子どもが入園するときに気をつけたことはありますか?

入園や就学前には、関係者と話し合いを重ねて、お互いが歩み寄れるポイントを見つけました。子どものためにも、子どもを預ける側も、預かる側もお互いが気持ちの良い関係でいられるように努めています。



地域の学校の特別支援学級へ入るために、いつから動き出しましたか?

もともと『地域で子育てをしたい』という思いがあったので、子どもが2歳のときから、保健センターの保健師さんにその思いを伝えていました。その後の、療育園、公立の保育園でも、『地域の学校に行きたい』という思いを伝えていました。



<西村先生からのコメント>

とても良い交流会でした。色々な疾患を抱える子の親が集まりましたが、同じ地域で子どもを育てる家族だからこそ共通する思いや悩みがあると感じました。今後も江南厚生病院だけで完結することは難しいため、専門病院とも連携し、子どもたちの力になることができるよう尽力したいと思います。



交流会の参加者の声

- ❖ 本人への病気の伝え方や家族との共有について参考になりました。
- ❖ 子どもが小さいですが、少しずつ未来を前向きに考えていきたいと思えるお話でした。
- ❖ お話をお聞きして、ご苦労があったこと、身に沁みました。でも明るくお話いただけて感銘を受けました。
- ❖ ご自身の気持ち、家族の関わり等、素直な気持ちが伺えてとても伝わりました。
- ❖ きょうだい児のケア、病気を治すのではなくてうまく寄り添っていくという心もち、病気の内容は違っても参考になることがたくさんありました。
- ❖ これからの進級にむけて参考になりました。
- ❖ 自分の子どもの病気に限らずいろいろな病気のことを知ることができて良かったです。病気の子をもつ親としてみなさんもがんばってみえるので力がもらえました。
- ❖ 託児がありがたかったです。

(当日アンケートより)

「慢性疾患の方と家族向けのガイドブック」について

江南保健所では地域の関係者の方々にご協力いただき、「慢性疾患のあるお子さんとご家族のためのお役立ちガイドブック」の内容をR7年3月に改訂しました！江南保健所で配布しております。また、江南保健所のホームページにも掲載しています。内容は、相談窓口、医療費の助成、各種手当・年金、入園・入学、医療や福祉のサービス、就労の相談などです。お知りになりたいことなどがありましたら、ご利用ください。

URL : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/konan-hc/shoman-guidebook.html>



保健所では、慢性的なご病気のあるお子さんやそのご家族からの相談に応じています。

日常生活でのお悩みやご不安などお気軽にご相談ください。

問い合わせ先：江南保健所 健康支援課 0587-56-2157

来年度の長期療養児家族交流会は秋ごろに開催予定です。
詳細については、市町の広報や江南保健所のホームページ等でお知らせします。

